

市庁舎新築移転を問う市民の会（吉田幹男会長）は20日、JR鳥取駅前から市役所までの約700メートルをデモ行進した。約250人の参加者（主催者発表）が市役所を取り囲み、「耐震改修早期実現！」と声をそろえた。

参加者は「市長は住民投票の結果を尊重せよ！」「市民の前にでて対話せよ！」などと声を上げ、プラカードを掲げて行進した。

耐震改修実現のために集めた2万5683人分の署名を竹内功市長に手渡す予定だったが、不在だったため、市長ら幹部と日程を調整することになった。八村輝夫副会長は「市民は、今の市のやり方に不満をもっている。市長は市民の声を直接聞いてほしい」と訴えた。【高嶋将之】